

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		教育事務管理費 [教育委員会だより発行事業]							
予算科目	款 10	教育費	項 1	教育総務費	目 2	事務局費	事業番号	2	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	教育総務		課	庶務	係	課長名	斎藤 謙二郎		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	1 - 1・2		
【施策名】 学校教育の充実・生涯学習の充実						総合計画書 (ページ)	31・35		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 教育関係者・行政機関・市民(児童・生徒の保護者含む)				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 教育関係者・行政機関・市民(児童・生徒の保護者含む)				
	→								
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 学校教育・社会教育行政について、市の教育委員会の活動内容を把握している。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 発行部数				
	→								
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。 教育委員会の活動及び教育行政の現状等について定期的にお知らせするため、「教育委員会だより」を発行した。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 年3回(7月・1月・3月)				
	→								
3 経費			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	
	対象指標	①の数値	人	7,550	7,500	7,500			
	成果指標	②の数値	%	100	100	100			
	目 標	②の目標値		100	100	100			
		目標値設定の考え方							
4 環境変化等	活動指標		③の数値	部	7,550	7,500	7,500		
	事業費(実績)		円	427,923	453,150	491,286	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	427,923	453,150	491,286			
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0			
		(うち受益者負担)	円	0	0	0			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2			
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0			
職員人件費(再任用以外)		円	1,648,800	1,662,000	1,676,000				
職員人件費(再任用)		円	0	0	0				
事業費+人件費		円	2,076,723	2,115,150	2,167,286				
(1) 開始年度		平成10 年度							
(2) 環境の変化		次の世代を担う東大和市の子どもたちの健全な成長や生涯学習社会の構築を目指すため、学校や社会教育関係団体のみならず、保護者や地域の方々に教育行政に関する情報提供の手段として発行を開始した。 教育委員会だよりの興味をもって読んでもらえるよう、紙面の構図を工夫するなど改良を進めている。また、平成29年度発行分から、仕様の大幅な変更(二色刷り及びSPコードの掲載)を行った。							

事業名称	教育事務管理費〔教育委員会だより発行事業〕				
担当部署・課長名	教育総務	課	庶務	係	課長名 斎藤 謙二郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☐ 取り組んだ		取組手法：		
	☒ 取り組まない		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし。				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 令和2年度発行分より、紙面の大きさをタブロイド版、二色刷りを四色刷りにすることが決定されたことから、その特長を生かした掲載内容・掲載方法を検討し、より魅力ある紙面づくりを目指す。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 令和2年度発行分から紙面の刷新（紙面の大きさをタブロイド版へ、二色刷りを四色刷りへ変更）をした。このことにより、写真及びイラスト等を多用し読みやすさを追求し紙面構成をした。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 令和2年度発行分より、紙面の大きさをタブロイド版、二色刷りを四色刷りにしたことから、その特長を生かした掲載内容・掲載方法を検討し、より魅力ある紙面づくりを引き続き目指す。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 学校教育の充実・生涯学習の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 令和2年度発行分より、紙面の大きさをタブロイド版、二色刷りを四色刷りにしたことから、その特長を生かした掲載内容・掲載方法を検討し、より魅力ある紙面づくりを引き続き目指す。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 紙面の充実に向けて、教育委員会各課で掲載内容を検討する。				